

問に答ふ

注 水彩畫に關係あるものに限る。印は答。一般に對し利益なきものは載せず

■透明不透明色は如何なる場合に用ふるものによ、又餘色、共通色などは如何なる關係を及ぼすものによ（櫃口きぬ子）◎時々『みづゑ』紙上で説明はしますが『水彩畫階梯』には詳しく記してあります■意匠と圖案と模様とは如何なる區別ありや、又意匠圖案の研究法は如何なる方法によるべきか（陸前K、Y、）◎美術上では壁紙とか織物とかに現はれた紋様を模様と云ひ、圖案とは組立といふ風にもつと廣き意味で、意匠とは夫等の圖案や模様を創作する力といふのです。又其研究法はいろ／＼あつて、爰には一々御答が出来ません、多分來月あたりから丸山氏の講話が出来せう■1堤など草木の茂つて居る所ばいかにして描くべきか2ある果物を畫くとすると其背面の色は何なりや、又影は物體に似たる色にて描くものによ（愛讀者）◎1大體の色と形を捕へてかくのですが口や筆先で説明が出来ません良好の臨本でも見て自ら發明されたし。2

果物の色によつてうつりのよいのと悪いのとあります、又影は物體に似た色とも限りません下の臺の色にも關係します、實地に寫生して研究するが一番近道■1水彩寫生箱と、水彩畫の棗に列記された諸器具を携ると何れか便なるや2通常水彩寫生箱には如何なる附屬品ありや3油繪用携帶箱を水彩用にする事を得るや（初學者）◎1、2水彩寫生箱は何の附屬品もなければ筆洗、繪具其他の器具は皆整へねばならぬ、但筆洗丈は其箱に合して作りし者あり2工風すれば間に合ふべし■1外國製水彩畫手本を知りたし2クレオン、パステル、肖像畫の手引書を知りたし（大和の山人）◎1 Studies in Animal Paintings - Landscape Painting in Water Colours. - Flowers, and How to Paint Them. - A Course of Painting in Nutralint. - Marine Painting. 等1一部金貳圓五拾錢、東京日本橋丸善書店にあり2肖像畫法は牛込神樂坂盛文堂發行の肖像畫法といふ書あり他は知らず■LAKEとは如何なる意味にて候哉（曙町黙蛙生）深紅といふ意■硬くなるとは如何なる風なりや（S

0生）◎タトエバ物體の輪廓恰も紙を切抜て貼付たやうにキツパリする事をいふ■1水彩畫の石版と三色版と何れが臨本とするに適當するや2鉛筆畫を練習するに最も適當なる臨本を知りたし（下谷S1生）◎1良好なるものなれば何れにても變りなれど石版の方が模寫するに容易ならんと内國製にて初學者向は日本橋通三丁目成美堂發賣の小山正太郎氏筆中學臨本、又參考畫としては神田中西屋發行三宅氏の墨繪講話よからん、定價未詳■鉛筆畫に適當なる紙は何なるか（ST生）◎B、H、D、ロウイングペーパー一枚六七錢以上のも■鉛筆畫の初學の臨本を教へられたし（ふぢ）◎前に答へし通り。

近事雜聞

△太平洋畫會及巴會は盛會のうち去月三十日閉會したり、猶太平洋畫會タカログは頗る美しき製本にて印刷又鮮を極め、開會中左久良書房より發賣したり。

△日本橋常磐小學校を初めとして市内の重なる小學校にては本學期より高等四年級に水彩畫を課することなれり